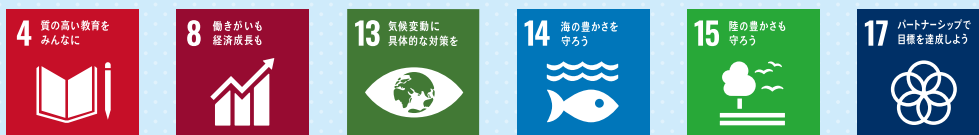




2030年のあるべき姿(ビジョン)



私たちは、沖縄県内の地元資本・地元企業として、創業63年目のホテル事業を通じて、地域の持続可能な発展に貢献してまいります。2030年までに実現したいビジョンは、SDGsの取り組みを継続、進化(深化)させ、環境と地域社会の調和を重視し、ウェルビーイング推進による人財への投資と処遇改善を行い、自然保護と両立させた持続可能な観光と地域づくりです。具体的には、地域の雇用創出とともに、地元の文化や伝統を振興します。また、自然環境の保護を最優先課題とし、環境に優しい運営や資源の効率的利用を推進します。さらに、SDGsの17の目標に則り、地域の暮らしの質向上と環境保全の両立を目指し、地域住民や訪れるお客様とともに持続可能な未来を築いていきます。私たちのビジョンは、「沖縄の豊かな自然と伝統を守りながら、地域の未来を担う人財を育て、持続可能な観光と地域づくりを実現すること」です。これを実現することで、2030年には、自然と調和した沖縄らしさ溢れる持続可能な地域社会を創造し、次世代に誇れる沖縄を築きたいと願っています。

認証期間において特に注力する活動・取組

取組概要		
経済	地産地消推進のため、地域素材を活用した商品開発	地域資源ベチバーを活用した商品開発により地産地消を進め、地域経済の活性化と農家所得向上を目指す。葉の活用による新たな価値創出と、赤土流出防止のグリーンベルトとしての特性を生かし、海洋保全にも貢献する。 
社会	ウェルビーイングの推進	2026年度内にウェルビーイング推進方針を策定し、就業規則等の見直しやラーケーション支援制度を整備。幸福度調査や研修・表彰を通じて社員の意識とエンゲージメントを高め、地域と連携した学習・交流も推進。 
環境	かりゆしサンゴパーク推進による環境保全と、住民への啓もう教育活動	かりゆしビーチサンゴパークを活用し、地域の小学生向けのサンゴ教室を開催。座学や体験学習、グラスボート観察を通じて環境問題やSDGs、サンゴの重要性を伝え、OISTとも連携し科学に触れる機会も提供する。 
社会	特別支援学校制作物販売会をホテルで開催し、生徒たちの将来の就職につながる体験を提供	支援学校の生徒が学校外イベントで地域住民に向けた販売体験を行い、接客や金銭管理など就労に役立つ実践的経験を得る。あわせて県内企業に生徒への理解と関心を広げ、障害者雇用の促進につなげる。
国際貢献	海外インターンシップの受入れ	約100名の外国人スタッフの国籍や在留資格も多様であるため、国際友の会を設け相談体制を整備。インターン受入れを通じ、日本・沖縄の文化やマナーを学ぶ機会を提供し、働きやすい環境づくりを進めている。 